

小笠原動物対処室におけるアカガシラカラスバトの処置実績（令和6年度）

- 1. 概要** 小笠原動物対処室は、外来種等による被害・影響を受ける野生動物の保護、飼い主のいないネコ対策、ペット由来の外来種を生み出さないための適正飼養の推進拠点
- 2. 設置者** 環境省（小笠原世界遺産センター内の施設）
管理者 おがさわら人とペットと野生動物が共存する島づくり協議会（事務局：小笠原村環境課）
※獣医師、愛玩動物看護師の各1名が常駐
- 3. ハトの処置実績**
令和6年11月末までに保護された野生動物144個体のうちハト2個体の治療を実施。また、生態情報の蓄積や傷病原因の判定のため、死亡した4個体（過年度含む）の病理解剖を実施。計6個体に延べ125回対応し、野生復帰1頭（詳細は下表参照）。

表：令和6年度のアカガシラカラスバトの対応実績

保護			保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日		主な内容	期間	回数	
2024	2	3	死亡個体 北袋沢の道路で回収	病理解剖	2024.4/4	1	死因：交通事故による腹部の重度の筋挫傷
2024	3	17	死亡個体 扇浦分譲地入口で回収	病理解剖	2024.4/4	1	死因：交通事故による骨折多発、血管の損傷
2024	4	4	死亡個体 大神山公園で回収	病理解剖	2024.4/5	1	死因：捕食（二次的な食害もあり）
2024	5	27	清瀬分譲地 バードストライク	レントゲン検査、	2024.5/29	1	2024.6/3 野生復帰
2024	6	2	北袋沢の農園 ネット絡まり 頸部背側に広範囲重度の皮膚損傷・筋損傷	消毒、外用薬塗布、注射、皮下点滴、ICU入院、強制給餌、リハビリ、病理解剖	2024.6/2~8/3	120	2024.8/3 死亡 国環研に検体を送付
2024	9	18	奥村にて瀕死で保護 捕食による頸部骨折、裂傷	ICU入院(10~15時) (安楽殺の判断中に死亡)	2024.9/18	1	2024.9/18 死亡 国環研に検体を送付

【その他の診療実績の推移】

表：野生動物の対応実績一覧（平成 29 年度から令和 5 年度）

野生動物	治療個体 ／保護された負傷個体	その他の* 治療・処置個体	合計数（治療延べ回数）	野生復帰個体
平成 29 年度	27／104 個体	4 個体	31 個体（約 260 回）	3 個体
平成 30 年度	20／101 個体	4 個体	24 個体（194 回）	6 個体
令和元年度	12／139 個体	5 個体	17 個体（406 回） (うち飼育個体 191 回)	10 個体
令和 2 年度	15／107 個体	0 個体	15 個体（314 回）	11 個体
令和 3 年度	11／80 個体	0 個体	11 個体（212 回）	7 個体
令和 4 年度	6／170 個体	1 個体	7 個体（383 回） (ハト入院 281 日(回)含む)	4 個体
令和 5 年度	28／135 個体	18 個体	46 個体（230 回）	23 個体

*R4 までは飼育個体（オオコウモリのみ）。R5 は飼育個体 5 個体と死亡個体 13 個体。

- ・同室を運営する動物協議会では、「野生動物の治療費は協議会で当面負担するが、環境省等での整理を求める」と課題を整理している。
- ・山域で捕獲されたネコの負傷・衰弱・疾患個体や妊娠中の個体について、必要に応じて治療・処置
- ・イヌ、ネコ、モルモット、ハリネズミなどのペット約 500 件／年の診療と同時に、適正飼養も指導

参考：ハトの対応実績（平成 29 年度から令和 5 年度）

保護 年	月	日	種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
					主な内容	期間	回数	
平成 29 年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 3 頭、海鳥類 11 羽（コアホウドリ、シロハラミズナギドリ 2 羽、オガサワラミズナギドリ、カツオドリ 2 羽、コグンカンドリ、ハワイセグロミズナギドリ、アナドリ 2 羽、オナガミズナギドリ、シラオネッタイチョウ）、その他の鳥類 10 羽を治療								
2017	8	22	アカガシラ カラスバト	大根山汚水 処理場の沈殿槽に 落下	スワブ検査、皮膚検査、 保温、皮下点滴・注射、 外部寄生虫駆除	2017.8.22	1	2017.8/23 死亡
2018	1	31	アカガシラ カラスバト	清瀬（若鳥）	糞便検査、強制給餌、 皮下点滴・注射、内服薬	2018.1/31～2/9	10	2018.2/19 野生復帰
平成 30 年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 9 頭、オガサワラノスリ、オーストンウミツバメ、カツオドリ、 アナドリ 2 羽、メダイチドリ、トラツグミを治療								
2018	6	27	アカガシラ カラスバト	小学校の 窓ガラスに衝突	死亡確認	2018.6/27	1	2018.6/27 死亡
2018	8	8	アカガシラ カラスバト	テグス絡まり	皮下点滴・注射	2018.8/8～9	2	2018.8/9 死亡
2019	1	4	アカガシラ カラスバト	西町で人工物衝突	皮下点滴・注射、 強制給餌	2018.1/5	2	2019.1/6 死亡
2019	3	16	アカガシラ カラスバト	長谷トンネル 交通事故	皮下点滴・注射、 強制給餌、ICU（入院、 保温）	2019.3/16～26	17	2019.3/26 多摩動物 公園へ搬送
2019	3	24	アカガシラ カラスバト	宮之浜道で 電線衝突	レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 ICU（入院、保温）、包帯	2019.3/24～26	5	2019.3/26 上野動物園へ搬 送
令和元年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 6 頭、オガサワラノスリ、アカオネッタイチョウ、 オナガミズナギドリ、メジロを治療								
2019	7	4	アカガシラ カラスバト	奥村 ガラス扉内 迷い込み	糞便検査、強制給餌、 皮下点滴・注射、内服薬	2019.7/4～25	21	2019.7/27 野生復帰

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2019	7	21	アカガシラ カラスバト	大神山公園 ガラス衝突	レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 糞便検査	2019.7/21~26	6	2019.7/27 野生復帰
令和2年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 11頭、オガサワラノスリ、アカオネッタイチョウを治療								
2020	4	14	アカガシラ カラスバト	大神山公園 うずくまり	皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)、 糞便検査、翼洗浄・消毒	2020.4/14~19	12	2020.4/19 多摩動物 公園へ搬送
2021	1	4	アカガシラ カラスバト	旭平 うずくまり	レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 強制給餌、包帯法、 ICU(入院・保温)	2021.1/4~10	12	2021.1/10 上野動物園へ搬 送 (1/14 死亡)
令和3年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 10頭、オガサワラノスリ、カツオドリ 2羽を治療								
2021	4	14	アカガシラ カラスバト	父島長谷橋 うずくまり	レントゲン検査、 洗浄・消毒、皮下注射	2021.4/19~20	2	2021.4/20 多摩動物 公園に搬送
2021	4	19	アカガシラ カラスバト	父島長谷トンネル うずくまり	レントゲン検査、 洗浄・消毒、 皮下点滴・注射	2021.4/19~20	2	2021.4/20 多摩動物 公園に搬送
2021	8	19	アカガシラ カラスバト	バス営業所 バードストライク	レントゲン検査 皮下点滴・注射、 ICU(入院、保温)	2021.8/19~20	2	2021.8/20 放鳥
2021	11	11	アカガシラ カラスバト	宮之浜 バードストライク	皮下注射、ICU、 レントゲン検査(死亡後)、	2021.11/11	1	2021.11/11 死亡
2022	3	4	アカガシラ カラスバト	母島 村民会館 バードストライク	皮下注射、 MRSA 検査→陰性、 レントゲン検査	2022.3/7	1	2022.3/9 野生復帰 (母島)
令和4年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 3頭の治療指示								
2022	5	30	アカガシラ カラスバト	屏風谷トンネル 歩行(幼獣)	入院、ICU、糞便検査、 皮下点滴・注射、投薬、 MRSA 検査→陰性	2022.5/30~ 6/2	4	2022.6/2 野生復帰
2022	6	30	アカガシラ カラスバト	扇浦 うずくまり 右癒合鎖骨 骨折	入院、ICU、糞便検査、 レントゲン検査、皮下点 滴・ 注射、MRSA 検査→陰性	2022.7/1~21	42	2022.7/21 上野動物園へ 搬送
令和5年度（獣医師交代）下記の他、オガサワラオオコウモリ 12頭、オガサワラカワラヒワ(飼育個体)2羽、 オガサワラノスリ、オナガミズナギドリ、シロハラミズナギドリ、アナドリ4羽、アカオネッタイチョウ、カツオドリ、 ムナグロ、ヒシクイを治療・処置(死亡個体の解剖含む)								
2022	6	24	アカガシラ カラスバト	奥村 うずくまり 尾羽無し	入院、ICU、糞便検査、 皮下点滴・注射、 MRSA 検査→陽性→陰転 (入院のみ)	2022.6/24~, 7/23~3/31	302	2023.4/29 安楽殺
					入院	2023.4/1~29	29	
2023	4	7	アカガシラ カラスバト	八瀬川 片翼たれていた	洗浄・消毒、皮下点滴・ 注射、MRSA 検査→陰性	2023.4/7~11	6	2023.4/12 上野動物園へ 搬送 →手術中に死亡
2023	4	7	アカガシラ カラスバト	小学校入口 バードストライク	皮下点滴、 MRSA 検査→陰性	2023.4/7~11	4	2023.4/12 上野動物園へ 搬送

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2023	9	17	アカガシラカラスバト	奥村グラウンド道沿いうずくまり	血液検査、レントゲン検査、皮下点滴・注射、外用薬	2023.9/18~24	7	2023.9/24 多摩動物公園に搬送
2023	9	27	アカガシラカラスバト	死亡個体高校グラウンドで回収	レントゲン検査、病理解剖	2023.9/27	1	死因:斃死
2023	10	22	アカガシラカラスバト	死亡個体奥村グラウンドで回収(交通事故)	病理解剖	2023.10/27	1	死因:斃死
2023	10	28	アカガシラカラスバト	西町建物奥でうずくまり	レントゲン検査、皮下点滴・注射、外用薬	2023.10/29~12/14	22	2023.12/14 野生復帰
2023	11	23	アカガシラカラスバト	死亡個体大根山道路で回収(交通事故)	病理解剖	2023.12/12	1	死因:斃死
2023	11	29	アカガシラカラスバト	死亡個体湾岸道路で回収(交通事故)	病理解剖	2023.12/13	1	死因:斃死
2023	12	2	アカガシラカラスバト	死亡個体咸臨丸墓地で回収(交通事故)	病理解剖	2023.12/15	1	死因:斃死
2023	12	18	アカガシラカラスバト	死亡個体西町建物前で回収(交通事故)	病理解剖	2023.12/27	1	死因:斃死
2024	1	22	アカガシラカラスバト	死亡個体奥村建物前で回収(バードストライク)	病理解剖	2024.1/22	1	死因:斃死
2024	2	21	アカガシラカラスバト	死亡個体扇浦建物前で回収(バードストライク)	病理解剖	2024.2/21	1	死因:斃死

※過去には無対応であったアカガシラカラスバトの死亡個体に対し、令和5年度からは、対処室による積極的な剖検の実施によって、交通事故、バードストライク等の死因が解明され、事故予防や危険周知につながっている。

参考：動物対処室の事業別作業量（平成 29 年度から令和 5 年度）

事業名	(1)野生動物の保護	(2)飼い主のいないネコ対策	(3)ペットの適正飼養の推進
平成 29 年度			
診療個体数	31個体	22個体	77頭
診療延べ回数	約260回	約190回	666回
割合	23. 3%	17%	59. 7%
平均診療回数	8. 4回／個体	8. 6回／個体	8. 6回／頭
最大診療回数	86回／個体(飼育個体)	146回／個体(糖尿病個体)	42回／頭
平成 30 年度			
診療個体数	24個体	53個体	76頭
診療延べ回数	194回	314回	634回
平均診療回数	8. 1回／個体	5. 9回／個体	8. 3回／頭
最大診療回数	57回／個体	73回／個体	42回／頭
診療費合計*	1, 712, 400円	2, 505, 241円	6, 452, 890円
割合	16. 0%	23. 5%	60. 5%
令和元年度			
診療個体数	17個体(うち飼育個体5個体)	42個体	72頭
診療延べ回数	406回(うち飼育個体191回)	114回	716回
平均診療回数	23. 9回／個体	2. 7回／個体	9. 9回／頭
最大診療回数	81回／個体(飼育個体)	17回／個体	52回／頭
診療費合計*	3, 013, 794円	988, 999円	8, 190, 754円
割合	24. 7%	8. 1%	67. 2%
令和 2 年度			
診療個体数	15個体	67個体	109個体
診療延べ回数	314回	320回	671回
平均診療回数	20. 1回／個体	4. 8回／個体	6. 2回／頭
最大診療回数	56回／個体	52回／個体	38回／個体
診療費合計*	2, 617, 978円	3, 619, 737円	7, 128, 273円
(割合)	19. 6%	27. 1%	53. 3%
令和 3 年度			
診療個体数	14個体	18個体	113個体
診療延べ回数	215回	41回	701回
平均診療回数	15. 4回／個体	2. 3回／個体	6. 2回／頭
最大診療回数	56回／個体	6回／個体	34回／個体
診療費合計*	1, 463, 627円	297, 275円	7, 187, 195円
(割合)	16. 4%	3. 3%	80. 3%
令和 4 年度			
診療個体数	7個体	26個体	106個体
診療延べ回数	383回(ハト入院含む)	35回	603回
平均診療回数	54. 7回／個体	1. 3回／個体	5. 7回／頭
最大診療回数	302回／個体(入院個体)	5回／個体	30回／個体
診療費合計	1, 601, 171円	250, 283円	6, 759, 512円
(割合)	18. 6%	2. 9%	78. 5%
令和 5 年度			
診療個体数	46個体	42個体	106個体
診療延べ回数	230回	222回	570回
平均診療回数	5回／個体	5. 3回／個体	5. 4回／個体
最大診療回数	26回／個体(コウモリ) ハト入院個体除く	25回／個体(入院個体)	61回／個体(ネコ)
診療費合計	1, 994, 036円	1, 410, 585円	5, 132, 838円
(割合)	23. 4%	16. 5%	60. 1%

*平成 30 年度からは飼い主価格（1、2 の診療費は作業量の目安）をもとに作業量を比較。